

目工組通信

第73回

あまり公にならないが、実はパチンコ業界が行っている社会貢献活動は多岐にわたる。中でも意外に思えるのが、パチンコとは結びつかない「子どもたち」へのさまざまな支援だ。特に一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POS C)は助成により多くの活動を陰で支えている。

FとKの両記者が活動の一端を紹介する。

充実した学生生活をかなえる

K パチンコ業界の社会貢献活動など、真っ先に思いつくのはゴミ拾いかな。お店の周りだけじゃなくて、かなり離れたところまで清掃している。F そういえば、私がよく田舎で被災がたりするのが印象的だ。

F 私は「PP奨学金」が真っ先に思い浮かぶ。学生時代に奨学金をもらっていたし、周りでもかなり多くの人が奨学金などで学生生活を送っていたか

玉は1玉4円、コインは1枚20円に換算して、それが奨学金の原資になる仕組みなんだ。

K 今年度は166人の応募の中から44人が選考された。今後も多くの学生たちに勉強の場を与えられるだろう。



K記者 50代の本紙記者。パチンコは学生時代によく打っていた。「目工組通信」をきっかけにパチンコ再デビュー。何事も探究心を持って取り組むことを心地としている。
F記者 入社3年目。パチンコは初心者も知識は豊富。好奇心が強く行動力は人一倍。最近の若者らしく、従来の縦社会にはなじまない。

つながる「コミュニケーションの場を子供たちのためにできること



「ホスピタルシアタープロジェクト2019~すべての子どもたちと家族のための多感覚演劇」事業

届ける 体験できるシーンを



「熊本城復興かるた作成」事業

K 障がい児への支援ものうちのひとつがNPOが多く行われている。そ法人大「シアタープランニングネットワークリング」が地域の中で運営し、循環型事業をめざす仕組みをつくる」「当

F これって、パチンコ店が地域の中で運営する相互補助のコミュニティーを再構築している役割と

守る ネットの正しい知識を



「こどもたちの茶道による癒しのさるん」事業

K 現代らしい取り組みなどが「子どもたちをインターネットのトラブルから守る活動」だ。

F 今の子どもたちは小さい時からインターネットを利用しているもんね。2017年度の内閣府の調査では子どもたちのインターネットの利用率は2歳で37%、9歳で90%だって! でもコミ

F それにPOS C大人もそうだけど、大人がいろいろな事例を知り、教職員65人に研修会を行った。

F そこから守る」事業

F その結果、P

F そん

</div